



フッドリバーから友来たる

①記念の津軽飜を贈呈（左からポール・ブラックバーン市長、シャーリーン・ウィルキンズ会長、ケイティ・ポールさん、メーガン・サンダーズさん、マイク・グローバーさん）。②7月にフッドリバー市を訪れた訪問団員が体験報告③フッドリバー市からサーモンの絵が描かれたお皿が贈られました。④和太鼓の演奏を体験しました。

今年7月に鶴田町と米国オレゴン州フッドリバー市が姉妹都市締結40周年を迎えたことを記念して、10月5日（木）から9日（月）まで、フッドリバー市から訪問団が来町しました。訪問団は滞在中、記念式典に出席したほか、ホームステイなどを通して、町民との交流を深めました。

今回、当町を訪れたのは、シャーリーン・ウィルキンズ姉妹都市委員会会長やポール・ブラックバーン市長ら5人。6日には、両市町の姉妹都市交流の礎を築いた中野撃司町長や東奥日報社、青森県知事を表敬訪問し、40年間続いてきた交流の橋渡ししや多大なる支援に對して、感謝の思いを記念品とともに贈りました。

同日は、国際交流会館で記念式典を開催し、町民ら約140人が出席。これまで築いた両市町の友好と絆を確かめ合い、末永い交流を誓いました。式典では、相川町長が「7月にフッドリバー市を訪問した際、市民の皆さんはいつも笑顔で私たちを受け入れ、国籍や文化、言語の違いにかかわらず、親愛なる友人として接してくれた。これが国際交流の理念であることをフッドリバーとの交流を通じて教わった。これを胸に刻み、

姉妹都市盟約が結ばれた当時を覚えている方がたくさんいる一方で、40年前にはまだ生まれてない方もいることでしょう。40年いかに長い年月を積み重ねてきたかがわかります。これまで、交換留学やホームステイ、記念行事への参加など数多くの国際交流を行ってきました。盟約を結んだ当初、40年後に両市町が素晴らしい友情を育み、これほど強い絆を結ぶことになるとは、想像もつかなかったと思います。

この前、鶴田町を初めて訪問したときの写真を見返しました。懐かしい気持ちでいっぱいになりました。何より感慨深いのは、昔の写真と一緒に写っていたたくさんの人たちと、今もこの場で会えていることです。

両市町で行われる桜の記念植樹は、私たちにとって強く心に残る行事です。富士見湖パークには私が植樹した桜の木が何本もあり、訪問するたびに木が成長していることが嬉しく、また、鶴の舞橋を渡るのも毎回楽しみです。富士見湖パークは私にとって特別な場所です。私たちが植樹した桜が成長し、四季折々に姿を変える様子を眺めては、鶴田町とフッドリバーの間に生まれた強い絆と友情が、永久に続いていくものと信じてやみません。

相川町長が姉妹都市交流を受け継いでくださることを非常にありがたく思っております。これからも私たちの友情を深めてくれると信じています。



フッドリバー市姉妹都市委員会会長
シャーリーン・ウィルキンズ氏



⑤町民の皆さんも久しぶりの再会を喜んでいました。⑥鶴の舞橋を背に、津軽富士見湖の湖畔に記念の桜を植樹⑦5日の夕方、町役場に到着した訪問団をサンシャインスクールの子どもたちと町職員らが歓迎⑧鶴田町を離れる最終日には、たくさんの町民が見送りに訪れ、別れを惜しみ涙を流す町民と訪問団の姿が見られました。

両市町の交流を共に進めていきたい」とあいさつ。これに対し、ポール・ブラックバーン市長は「両市町の間に生まれた心温まるコミュニティと友情は、我々の未来を輝かしいものにしてくれると信じている」、シャリーリン・ウィルキンズ会長が「鶴田町とフッドリバーの間に生まれた強い絆と友情が、永久に続いていくものと信じてやまない」と言葉を贈りました。また、昭和52年に盟約を締結した中野前町長らに特別感謝状が贈られたほか、フッドリバー市を訪問した鶴田中学校、鶴田高校の生徒の体験発表や40周年記念親善訪問団の報告が行われました。

フッドリバー市との姉妹都市交流が40年もの長い間続いてきたのは、両市町の間に「この交流を続けていきたい」という思いが育まれてきたからです。現地を訪れた町民からは毎年、「私たちの慣れない英語を理解しようと耳を傾けてくれた」「いつも優しく接してくれた」「また行きたい」という声を聞きます。また、フッドリバー市民も鶴田の町民が訪れるのをいつも楽しみにしており、温かく受け入れてくれます。

年月が変わっても、両市町の人々の心には、「姉妹都市交流があつて良かった」という思いがあつたのです。この交流がこの先もずっと続いていくよう、姉妹都市交流への思いを各世代でいつまでも受け継いでいきたいものです。



フッドリバー市長
ポール・ブラックバーン氏

鶴田町に来て、皆さまとともに記念すべき40周年を祝うことができ、とても嬉しいです。10年前、私が娘と一緒に来町した際は、皆さまの温かい歓迎とおもてなしのおかげで最高の思い出となりました。こうして、また鶴田町に訪問できて非常に光栄です。

この40年間、両市町の間で数えきれないほどの交流を積み重ね、私たちは特別な友好関係を築いてきました。中野前町長とバズリー元市長が姉妹都市盟約を締結した当時、私は11歳でした。これから相川町長とともに、姉妹都市交流を続けていくことを誇りに思います。幸運なことに、私の娘もこの貴重な交流を経験した一人です。国際交流は、海を越えてさまざまな人々と出会う機会を与えます。そして、相互理解と友好関係を深めていきます。両市町の間に生まれた心温まるコミュニティと友情は、我々の未来を輝かしいものにしてくれると信じています。

ここ数年、ヨーロッパやアメリカでは自分の国家や国民を第一と考える民族主義の波が押し寄せています。私はこの思想や運動に脅威を感じています。我々の姉妹都市交流は、このような傾向を抑制する力を持つため、とてもありがたいと思っています。

まだフッドリバーに来たことがない皆さま、心より歓迎いたしますので、ぜひフッドリバーにいらしてください。

姉妹都市交流の橋渡し役に聞く

姉妹都市交流が未来永劫続くことを祈っています

1977年7月27日に姉妹都市盟約を締結して以来、40周年という記念すべき年を迎えました。当時の東奥日報社の山本省一副社長に、「子どもたちを外国にやりたいが、私は外国のことが分からないので」と話す、山本副社長は、「アメリカのオレゴン州にフッドリバー市があります。そこにレイ安井さんという知り合いの人がいますので、紹介します」ということで、話は順調に進み、締結のため、1万キロ離れたアメリカの大地を初めて踏みました。当時のチャールズ・バーズリー市長と私で盟約書に署名し、調印式が終わりました。

光陰矢のごとし、それからもう40年が過ぎました。レイ安井氏が亡き後、胸像も作り、フッドリバーに記念碑も建設しました。子どもたちや町民が植えた桜もあります。この桜の木のように、たくましく成長することを願っております。

楽しく有意義であった歴史を思い起こし、この交流が未来永劫続きますことを祈っています。



前鶴田町長
中野 撃司 氏



訪問団一行は、姉妹都市交流の礎を築いた中野前町長を表敬訪問しました。シャーリーン・ウィルキンズ会長は「中野さんの強い熱意とリーダーシップがなければ、今日私たちはここにいることができませんでした」と涙ながらに話し、「国際化がまだ浸透していない時代にもかかわらず、国際交流の重要性が高まる将来を見据え、両市町のつながりを深めるために大変ご尽力された。鶴田町とフッドリバーの間に生まれた強い絆と友情が、永久に続いていくものと信じてやみません。フッドリバー市民は「サンキュー」と言っています」と感謝の思いを伝えました。

大きな節目を迎えたことに深い感慨

鶴田町がリンゴを契機とした姉妹都市交流を模索し始めたのは昭和49年だったと、締結当時の東奥日報の記事にあります。この記事には「夢のあるまちづくりと、若者たちに希望と活気に満ちた農業を目指してもらおう」という趣旨で候補地選びや折衝を進め、3年を費やしてフッドリバー市との姉妹都市締結にこぎつけたことが記されています。

姉妹都市締結に当たっては、当時の東奥日報社副社長で後に社長を務めた山本省一氏が、当時の中野撃司町長にフッドリバー市を紹介し、縁結び役になったほか、同市への訪問団派遣に当たっては、現在まで、東奥日報社およびグループ会社の旅行事業部門が業務を担当しており、紙面記事でも継続して活動を紹介してきました。姉妹都市交流事業に微力ながら支援・協力を続けてきた当社といたしましても、40周年という大きな節目を迎えられたことに、深い感慨を覚えております。

この40年間で相互交流した人数は、延べ1700人余りに上るとのことです。今年7月の40周年記念親善使節団に同行した記者が書いた連載記事からは、家族のように迎え入れてくれるホストファミリーの温かさや、鶴田の名を冠した公園「ツルタパーク」が市民に親しまれていること、世代が変わっても交流が引き継がれている様子などが紹介され、鶴田町とフッドリバー市の交流が揺るぎない関係に進化し、その成果はさまざまに波及していることが伝わってきました。

相川町長が記事の中で「子どもたちを中心に国際感覚を磨いていけるよう交流を続けたい」と語っているように、顔と顔を直接合わせる交流は、グローバル化する社会で活躍できる人材を育てる上で、大きな役割を果たし続けることでしょう。姉妹都市交流がこれからも末永く続けられ、鶴田町とフッドリバー市がますます発展していくことを願います。

東奥日報社代表取締役社長 塩越 隆雄 氏



△東奥日報に掲載された、今年7月の40周年記念親善訪問に関する連載記事（平成29年7月17日掲載。東奥日報社提供）